

また行きたい!



石川県にて



足羽更生園では、平成26年5月から、利用者の方がいつもの外出より少し遠出をして富山県などの温泉旅館で一泊するという企画が始まりました。

「一般の方も利用している中で一緒に過ごすことは利用者の方にとっては貴重な経験となります。

今年、利用者の方の付き添いを行った職員の感想を元にご紹介します。

もっと笑顔が見たくて

今まで、足羽更生園では「社会参加活動」という毎月の外出を行ってききました。例えば、公園でお弁当を食べたり、緑いっぱい場所で過ごしたりと、短い時間で行われるものがほとんどでした。

そんな中、利用者の方のご家族よりこのようなお声をいただきました。

「本当はもっと帰省や外出をさせたいけれど、自分も歳をとり難しくなってきた。園で連れていつてはくれないだろうか？」

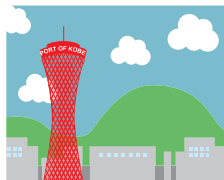
また、職員も利用者の方の笑顔やもっている力に気づかされ「もっと笑顔を引き出したい」と思い、新たな取り組みを考え始めました。

旅行の思い出

京都府



兵庫県(神戸方面)
(平成26年11月実施予定)



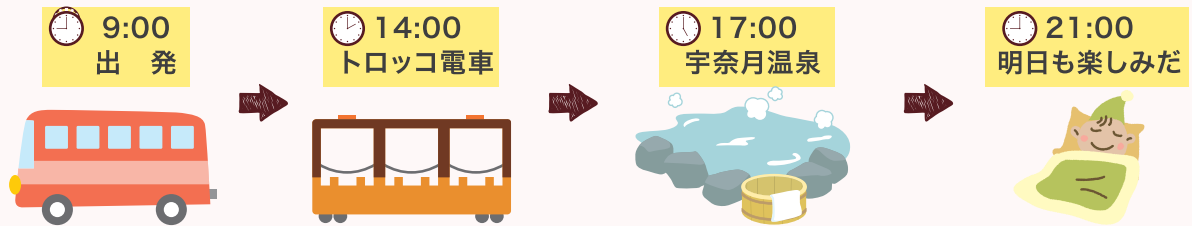
富山県



石川県



旅行のしおり(1日目) 行先：富山県黒部



旅を終えて(感想)

○大変だったこと

※いつもと違う環境での宿泊なので、興奮されて一睡もできない利用者の方もありました。そのため、一緒に朝まで過ごしたことが大変でした。

※ふだん接することのない利用者の方と過ごしました。着替えなどをしていただくのも初めてだったので、苦労しました。

※旅行の責任者として参加しました。利用者の方に「急いで」と言っても難しく、時間間に合わない!とドキドキでしたが、間に合いました。一安心でした。

ふだんかかわることのない利用者の方と過ごした人も多く、このように大変な点もありました。しかし、大変なことはばかりではありませんでした。

○楽しさ・うれしい気持ちを感じる瞬間もありました。

※以前の外出と同じ方の付き添いをしました。そのときは不安で、苦手なバスに乗ることもなかなかできませんでした。しかし、今回はスムーズにバスに乗れて、笑顔も多く見られました。「成長」が見られたことがうれしかったです。

※一緒にご飯を食べたり、同じお風呂に入ったり、同じ時間を過ごすことができ、それが楽しく、うれしかったです。

※刺身はきつと苦手なのだろうと思っていた利用者の方ですが、ペロリと召しあげり笑顔もありました。新たな発見でした。

※今回の旅行では、旅館のスタッフの方や宿泊している一般のお客さん、バス会社の方など、多くの支えがあったりしました。どの方もあたたかく迎えてくださり、利用者の方の癒しにつながったと思います。この出会いに感謝したいです。



富山県にて

初めて1泊旅行を企画したのは3年前です。当初は、ドキドキしながら送り出していたのですが、旅行から帰ってきた利用者の方の満足そうな笑顔に安堵したものです。

利用者の方が回を重ねるごとに成長している姿を見ることができました。中には次の外出を楽しみに毎日の活動へ来ていただけるようになった方もいます。その姿を見られて職員一同うれしい気持ちでいっぱいです。

こうして実施できるのもご家族のご理解があつてこそです。これからも利用者の方の「〇〇したい」という要望に応えられるよう、職員一同取り組んでいきます。

足羽更生園 主任

岡崎 ゆかり